

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		0110/100575/04/00		事業の種類		4					
年度	19	事務事業名		総合補償保険事業		作成日		平成21年1月20日		重要度		4	
予算事業名		相生市総合補償保険		担当部課名		まちづくり推進室							
政策名		計画推進のために											
施策名		その他		実施計画への記載		無		主要事業の指定		無			
根拠法規及び関連法規													
事業の目的	誰のために(具体的に)		市主催・共催行事において事故にあった参加者										
	誰(何)を対象として		市主催・共催行事参加者										
	意図(どのような状態にしたいのか)		従来、市が行事を主催・共催する場合の障害保険の加入はその都度主管課が行っていたが、一括して加入することにより、加入漏れ等の誤りを防ぎ、市民が行事に安心して参加できる環境を整える。										

2 事業の概要 Do

実施の概要		年度中に行われる市主催・共催の市民参加事業について、まちづくり推進課が窓口となり保険に加入する。事業内容によって保険料が異なるが、死亡500万、後遺傷害 上限500万、入院3,500円、通院2,300円				
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	総参加者数	人	68,714	61,473	68,441	78,686
	事故件数	件	4	12	6	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3	
	主幹以下職員	0.006	0.039	650.0	0.030	76.9	0.030	100.0	
	臨時職員	0.000	0.000	－	0.000	－	0.000	－	
支出内訳	人件費	1,011,864	1,048,956	103.7	1,000,615	95.4	955,932	95.5	
	事業費	2,842,233	2,488,956	87.6	2,852,126	114.6	3,166,000	111.0	
	合計	3,854,097	3,537,912	91.8	3,852,741	108.9	4,121,932	107.0	
財源内訳	国庫支出金			－		－		－	
	県支出金			－		－		－	
	市債			－		－		－	
	その他			－		－		－	
	一般財源	3,854,097	3,537,912	91.8	3,852,741	108.9	4,121,932	107.0	
	合計	3,854,097	3,537,912	91.8	3,852,741	108.9	4,121,932	107.0	

4 評価指標

【有効性】

指標名1		保険加入事業への参加者数							
指標説明(式)		保険加入事業への参加者数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
人	目標	82,526	79,615	96.5	80,631	101.3	78,686	97.6	
	実績	68,714	61,473	89.5	68,441	111.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		保険加入事業への参加者一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費(保険料)÷保険加入事業への参加者数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
円	実績	56.09	57.55	102.6	56.29	97.8	40.24	71.5	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	市が主催・共催する行事保険に加入することにより、市民が行事に安心して参加できる事を目的とする。	3	4
	市の関与の妥当性	市主催・共催する行事における事故への対応であるため市の関与は妥当である。		
有効性	市民サービス	不幸にして市民が障害を受けた場合に対応できる。	3	4
	期待する目標	市民が行事に安心して参加できる環境を整える。		
効率性	手段の最適性	主管課が個別に加入していたのを、一括加入することにより、事務の効率化及び加入漏れ等の誤りを防げる。	3	3
	コストの節減	保険契約を一本化することで加入人数が増え、契約単価が抑えられている。		

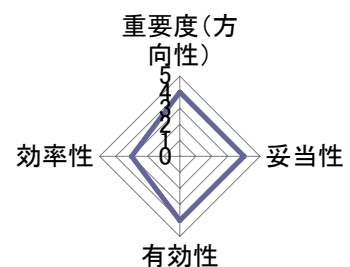
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	導入後13年を経過し、本制度を導入した経緯の事業主管課の理解が薄れ事務処理に齟齬を来している。

H19→H20予算反映額

(1) 評価結果を踏まえた19年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	コストの節減	各事業の契約内容の精査によりコストの軽減に努めた。
H19→H20予算反映額		△328千円



(2) 20年度の実施方針

市民が行事に安心して参加できる環境を整える。

検討の有無	—
総合指標	21